

2003.11.19 発行

<http://www.chouyou25.jp/>

連 載

中高年の再就職事情考察 その 「再就職活動・面接編」

D C組 松村 秀典

さて、書類選考を通過して、いよいよ面接のステージへ、というところまで来ました。この面接についても、書類のアプローチの仕方で、多少変わってきます。特に人材紹介会社を通した場合などは、その担当者（コンサルタントと呼んでいる）と一緒に同席する場合があります。

そこで、前回余り詳しく触れることができなかった、人材紹介会社について、もう少し話しておきましょう。人材紹介会社って何？・・・簡単に言うと人を紹介してお金を稼いでいるところです。彼らは人を一人紹介して就職先を決めると紹介先の企業から、大体マージンがその紹介した人の年収の20～30%入るシステムになっています。だから紹介して貰う我々側からは費用は取りません（口悪くいうと、「人買い」という人もいます）。

もともとは、ヘッドハンティングが主体のところが多かったのですが、こういうご時世ですから、再就職の斡旋もやっているのです。従って、彼らも商売ですから、当然売りやすい商品から売る、つまり我々の年代で言うところ「エグゼクティブ」から売りたいがわけです。これで、最初に私が述べた、「エグゼクティブ」は別といったことがお判りいただけると思います。ランクでいうと我々中高年のエグゼクティブ以外は不良在庫みたいなものですから、売りにくい筆頭であり、それだけ親身になってくれるところが、少ないと考えられるわけです（もしも人材紹介会社にお勤めの方がいらしたら、ゴメンナサイ）。それでも各々の紹介会社によって得意分野があり、ハローワークや新聞・雑誌等には出て来ない、独自の案件を持っているので、うまくヒットすれば儲けもの的な感覚で、とりあえずは最低でも10件以上は登録して、良い案件が出てくるのを待ちます。人材紹介会社とはそんなところだ、と思って下さい。

いずれの手段にしろ、うまく面接までこぎつければラッキー！ここからは自分を大いにアピールできる機会を得た訳ですから、失敗しないように上手く立ち回ることです。そうは言っても相手も人事のプロですから、うまく繕っ

たところで、ボロはすぐに見分けられてしまいますし、大体、50歳近くなって性格なんてもう変えようが無い訳ですから、素直に自分を表現することだけに集中しましょう。

色々な書物にも書かれています、面接のポイントは最初の印象で決まる、会って5分くらい話ただけでか×か殆ど決まってしまうと言われていています。要するにその企業の風土に合う・合わないはほとんど第一印象で決まってしまうようです。上手に振舞うコツというか、聞かれたことに対して、自分の率直な意見を述べるのが大事であり、嘘もすぐばれてしまうし、余計なことは言わない。これが鉄則です。あとは、自分がこの企業なり団体に対して、どのように自分の仕事を通じて貢献できるかを、わかりやすく自分の言葉で説明できるかで、決まってしまうということです。

面接は通例大体3回ぐらい行われる、と思っておいてください。人事担当者 採用部署の責任者及び担当役員
社長または役員面接（私の場合も3回でしたが、これから先、「同じような面接を何回も経験したいとは思いたくない」というのが本音です）。やたら神経は使うし、疲れるし、面接で不合格になると書類選考よりももっとショックは大きいし……。でも一つ一つが経験の積み重ねとなって自分の肥やしになって行くという良い方向へ考える、いわゆるポジティブ思考として捉え、今回の反省点をしっかり見極めて次に進む、これしか解決の道はありません。

もう一点注意しておいて貰いたいことは、面接に受かりたいがために、余り大げさなことも言わないように注意することでしょう。「私が入社したなら、1年でこれとこれは、こんな風に改善して、これだけの効果を上げてみせます。」とか、あまり実現できないようなことを言いふらすと、今度は入社してからの期待が大きすぎて、それを達成できないと、解雇や、結局は自ら身を引かなければならない羽目に合うようなことも、よく耳にします。やはり自分のできる範囲のことをわかりやすく話す、これが一番良い方法だと思います。それがダメならそこには縁がなかった、自分にはハードルは高すぎたと、キッパリ諦める。それぐらい割り切りを持つことも大事だということも忘れずに思っておきましょう。結局、就職するということは、ある種の出会いであり、タイミングときっかけで殆ど決まってしまうものなのです。要するにいかに数少ないチャンスを掴むか、掴んだら逃がさないようにするか、にかかっているということになります。

前回も書きましたが、再就職活動は長引けば長引くほど、嫌気がさして来て段々と就職しようとする意識が薄れてきます。だから、私の場合は3ヶ月を1クールとして考え、そこで結果が出なければ、また次の3ヶ月で違うアプローチの方法を考え試行錯誤を繰り返しながら、なんとか結果を出そうと思ってやって来ました。幸いにも3ヶ月で活動を終了できたもの、この3ヶ月で結果を出そうという強い目標を定めていたからかもしれません。

それと、面接のところで、触れ忘れましたが、一番大事な収入に関しては、最終の面接の時に話し合いをするのが通例だそうです。さらにこの件に関しては、面接とは別に入社するまでの間で再度交渉することも場合によっては可能なようです。また、最初に募集の段階で大体の報酬が明記されていますが、実際にはその最高値を提示してくれるケースは極くまれであると考えてください。基本的に考えて、ヘッドハンティングでない限り、年収が上がることは皆無です。今までの年収の50~70%ぐらいが相場なようで、80%ももらえれば大成功であると言えます。あとは、その企業に入ってから自分がどれだけ頑張れるか、貢献できるか、それで評価を上げて、報酬も上げて貰うしかありません。

何とか無事に面接も切りぬけることが出来、いよいよ新しい仕事に就く、これで終了ではありません。ここからがスタートなのです。

最終章では新しい職場についてからの心構えについてお話したいと思います。ではまた・・・

コ ラ ム

【25回MLの話題から】

A組・久保田兼士 + D組・渡辺 康隆 両君のヤリトリから

ピロリ菌 考

【久保田】先日胃カメラを飲まされたんですが、ポリープ(四年程飼ってる良性の奴)はあるは、ヘリコバクター・ピロリ菌に感染していて慢性胃炎を起こしてるとか、いろいろ指摘されました。

医者の野郎、「ピロリ菌は子供の頃に感染するはずだから、今更除菌しても手遅れか。」とか、「このままなら、十年か十五年で間違いなく胃癌だ。」等と平気な顔してほざきやがった。

【渡辺】

久保田のメールにあるピロリ菌について一言。(ピロリと聞いたら黙ってられない)

ピロリ菌が居る居ないの診断には色々ありますが、最近開発され最も簡単なのが呼気診断。

これに当社の技術が大きく貢献してます。

自然界の炭素 C は分子量が普通 12 で ^{12}C です(こう書く、本当は 12 は小さく)。ところが ^{13}C (分子量が 1 大きい)の炭素が約 1%含まれます。

これはいわゆる同位体と呼ばれるやつですが、放射線を発生する同位体 RI に対し、SI(stable isotope)と呼ばれ安定しています。

炭素の同位体は ^{11}C が半減期が長いので、考古学の時代測定に使われるので有名です。

さて ^{13}C ですが自然界に 1%含まれるものを、当社の主原料であるメタン CH_4 を精密に蒸留分離すると、 ^{13}C のメタンだけが取り出せます。

この ^{13}C メタンを元に尿素を合成し、薬品にします。

これを飲んだ患者は、胃にピロリが居ると、ピロリがこの尿素を喰って、炭酸ガスを履きます。

最終的にはこの炭酸ガスを患者が吐いたのを分析して、 ^{13}C が自然界の比率より増えていればピロリが居るとなります。

このピロリ診断薬の元の ^{13}C メタンを精密蒸留するのが当社です。

精密蒸留と言っても真空、低温、数千段と途方もない蒸留です。

渡辺の知られざる仕事の話でした。

続いて【渡辺】...最近開発され最も簡単なのが呼気診断。...

【久保田】これ、やりました。始めに呼気を採取し、訳の分からない薬を飲まされて 20 分後にまた呼気を採取するやつ。

【渡辺】...ピロリ診断薬の元の ^{13}C メタンを精密蒸留するのが当社です。...

【久保田】と言うことは、康隆が造った薬を飲まれたわけで、その副作用で同期会病が悪化し「鬼」になった？。

--- 『 瓦斯 × × 会社の製造する 試薬に未知のウイルスが混入しているのが発見された。 このウイルスに感染した場合の症状は人によりまちまちであるが、共通するのは「同期会」とか「卒業 30 周年」などの言葉に異様な反応を示し、本業を顧みず金にもならない仕事に寝食を忘れ没頭するようになる。症状は五年周期で激化、回復を繰り返し、感染期間が長くなると「鬼」と化すと報告もある。

現在、首都圏を中心に 10 人程の感染が認められているが、保菌者は 100 人を越すものとみられている。治療法

は確立されていない。』（ 勿論これはジョークです！ ）

因みに、久保田君のおなかの中に生息するピロリ菌が今どうなっているか定かではない！

【追記】以上のような愉快な？話題ばかりではありませんが、未登録の週刊新宿「読者」の皆様、MLに登録なさいませんか？

バックナンバーをご覧になりたい方は、

<http://www.chouyou25.jp/shukan-shinjuku/> より、見ることができます。

では、また来週！

感想などは、 henshu@chouyou25.jp 迄お送り下さい。

「週刊新宿」(毎週一回発行予定)

発行元：朝陽同窓会新 25 回同期会

発行人：25 回代表幹事 渡辺康隆

編集長：斎藤 成

編集：斎藤 成、渡辺 康隆

編集技術：土橋 英三

Website： <http://www.chouyou25.jp/>

お問い合わせ： henshu@chouyou25.jp

(C)2003 Chouyou25 All Rights Reserved 無断転載禁止